



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 児玉化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4222 URL <http://kodama-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)坪田 順一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理財務部長 (氏名)橋本 真一 (TEL)050(3645)0121
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,992	△32.9	21	△30.4	△69	—	△11	—
2020年3月期第2四半期	8,925	△0.8	30	—	△74	—	△241	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △77百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △196百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△3.97	—
2020年3月期第2四半期	△62.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,292	3,416	22.3
2020年3月期	12,829	558	△1.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,740百万円 2020年3月期 △208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0	0
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900	△27.8	200	8.9	50	—	50	—	12.80

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社(社名)無錫普拉那塑膠有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	7,859,191株	2020年3月期	3,952,941株
2021年3月期2Q	70,303株	2020年3月期	79,296株
2021年3月期2Q	5,570,201株	2020年3月期2Q	3,866,832株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(会計上の見積りの変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大によりその活動が停滞し、個人消費、設備投資、輸出を中心に多大な影響がみられ、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言の解除後は経済活動が徐々に再開しているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大は、依然、予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、ASEAN地域においても、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し、需要が低迷いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,992百万円(前年同四半期比32.9%減)と減収となり、営業利益は21百万円(前年同四半期比30.4%減)、経常損失は69百万円(前年同四半期は経常損失74百万円)、また、債務免除により303百万円の特別利益を計上及び新型コロナウイルス感染症の影響により製造の稼働が著しく減少したことによる損失194百万円の特別損失を計上等により、税金等調整前四半期純損失は37百万円(前年同四半期は税金等調整前四半期純損失197百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は11百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失241百万円)となりました。

このような状況の中、当社は、2019年度を初年度として策定した3カ年の再建中期計画に基づき、事業構造改革を推進しておりますが、国内の自動車部品事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により操業縮小・停止等、需要が大幅減少したことにより売上高が大幅に減少し、合理化施策に一定の効果が見られたものの及ばず収益は悪化いたしました。しかしながら住宅設備・冷機部品事業では、新規住宅着工並びにリフォーム需要とも低調に推移し売上高は減少したものの、構造改革の効果が如実に現れ収益は増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①自動車部品事業

当事業の国内自動車部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の多大な影響を受け、第1四半期は顧客の操業縮小・停止が続いておりましたが、第2四半期は7月を底とし8月からの販売の回復傾向が鮮明になってきております。また、海外自動車部門のタイのECHO AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD. はコロナウイルスの影響で引き続き自動車生産が大幅に落ち込み、売上高は減少しましたが、国内と同様に8月から回復基調になっております。なお、海外については決算期に3ヶ月の差異がありますので、その回復の効果は第3四半期以降に反映されます。

この結果、売上高は3,208百万円(前年同四半期比41.6%減)、セグメント損失は200百万円(前年同四半期はセグメント利益173百万円)となりました。

②住宅設備・冷機部品事業

当事業の国内住宅設備部門におきましては、新規着工戸数及び住宅リフォーム需要の低調な推移の中、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であったと言えますが、オフィス設備需要減による空調製品関係は低調に留まり、売上高は減少いたしました。しかしながら、構造改革の効果として不採算製品の整理・撤退を進めたことで、収益は増益となりました。また、海外冷機部品部門におきましては、タイのTHAI KODAMA CO., LTD. はコロナによる流通チャネルのストップや外出禁止令によるコンビニエンスストアの不振の影響を受け、食品容器の売上高は減少いたしました。ベトナムのTHAI KODAMA (VIETNAM) CO., LTD. では同じくコロナの影響で業務冷蔵庫用が苦戦致しましたが、ショーケース等でカバーし、売上高を伸ばしました。

この結果、売上高は2,369百万円(前年同四半期比23.7%減)、セグメント利益は163百万円(前年同四半期比171.9%増)となりました。

③エンターテインメント事業

当事業におきましては、外出自粛等の影響がありゲームソフトパッケージの需要が引き続き増加したことにより、売上高、収益とも増加しました。

この結果、売上高は415百万円(前年同四半期比26.9%増)、セグメント利益は39百万円(前年同四半期比63.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は12,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ537百万円の減少となりました。

資産では、流動資産が現金及び預金の増加等により29百万円増加し、固定資産が有形固定資産の建物及び構築物の減少等で566百万円減少しました。

負債では、デット・エクイティ・スワップ及び債務免除等があり、流動負債では短期借入金の減少等により2,638百万円減少し、固定負債が長期借入金の減少等で756百万円減少しました。

純資産では、第三者割当増資等により2,857百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日公表時から変更はありません。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経営環境は不透明な状況にあるものの、政府による緊急事態宣言が解除され、経済活動が徐々に再開していること、および低迷しておりました自動車部品事業では、当社顧客情報などから回復傾向となっていることなどを踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき算定いたしました。

なお、当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	837,919	1,619,625
受取手形及び売掛金	2,714,331	1,816,921
商品及び製品	337,459	446,998
仕掛品	241,465	224,132
原材料及び貯蔵品	611,427	685,557
その他	157,561	139,389
貸倒引当金	△10,955	△13,947
流動資産合計	4,889,209	4,918,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,220,761	5,907,618
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,806,217	△3,686,650
建物及び構築物(純額)	2,414,543	2,220,968
機械装置及び運搬具	8,243,575	7,939,640
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,908,646	△6,760,394
機械装置及び運搬具(純額)	1,334,928	1,179,246
土地	2,986,308	2,959,562
リース資産	887,724	627,409
減価償却累計額	△492,840	△376,299
リース資産(純額)	394,884	251,110
建設仮勘定	156,689	245,594
その他	3,021,644	2,964,575
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,723,783	△2,751,688
その他(純額)	297,860	212,887
有形固定資産合計	7,585,214	7,069,369
無形固定資産		
その他	57,957	35,992
無形固定資産合計	57,957	35,992
投資その他の資産		
投資有価証券	179,699	171,237
長期貸付金	113,650	—
固定化営業債権	18,990	18,990
繰延税金資産	72,974	61,041
その他	106,058	71,540
貸倒引当金	△193,795	△54,150
投資その他の資産合計	297,576	268,659
固定資産合計	7,940,749	7,374,022
資産合計	12,829,958	12,292,700

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,992,772	1,361,035
電子記録債務	757,109	556,589
短期借入金	6,157,074	4,496,802
リース債務	117,832	41,933
未払法人税等	53,533	29,281
賞与引当金	71,742	116,434
関係会社整理損失引当金	76,677	—
環境対策引当金	8,280	8,062
その他	663,405	649,365
流動負債合計	9,898,427	7,259,503
固定負債		
長期借入金	1,560,667	918,617
リース債務	124,966	117,331
繰延税金負債	61,267	44,063
株式給付引当金	10,363	5,883
退職給付に係る負債	615,944	531,013
固定負債合計	2,373,208	1,616,911
負債合計	12,271,636	8,876,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343,856	100,000
資本剰余金	272,256	2,254,948
利益剰余金	△3,734,561	479,398
自己株式	△66,560	△58,948
株主資本合計	△185,008	2,775,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,816	△41,262
為替換算調整勘定	62,786	41,008
退職給付に係る調整累計額	△32,495	△34,968
その他の包括利益累計額合計	△23,526	△35,221
非支配株主持分	766,856	676,108
純資産合計	558,322	3,416,285
負債純資産合計	12,829,958	12,292,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,925,969	5,992,798
売上原価	7,867,874	5,213,835
売上総利益	1,058,094	778,963
販売費及び一般管理費	1,027,431	757,622
営業利益	30,663	21,340
営業外収益		
受取利息	7,621	8,806
受取配当金	4,245	4,770
為替差益	—	2,388
固定資産売却益	9,786	—
その他	13,738	10,068
営業外収益合計	35,390	26,033
営業外費用		
支払利息	87,026	70,703
支払手数料	9,906	19,536
為替差損	15,469	—
その他	27,697	26,952
営業外費用合計	140,099	117,192
経常損失(△)	△74,044	△69,818
特別利益		
債務免除益	—	303,485
固定資産売却益	—	1,439
特別利益合計	—	304,925
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	194,319
事業構造改善費用	123,355	73,078
固定資産売却損	—	5,251
特別損失合計	123,355	272,649
税金等調整前四半期純損失(△)	△197,400	△37,542
法人税、住民税及び事業税	35,433	13,846
法人税等調整額	△27,622	△9,079
法人税等合計	7,810	4,766
四半期純損失(△)	△205,211	△42,308
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	36,407	△30,364
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△241,619	△11,944

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△205,211	△42,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,411	12,554
繰延ヘッジ損益	△16	
為替換算調整勘定	18,038	△47,538
退職給付に係る調整額	△5,452	△565
その他の包括利益合計	9,157	△35,549
四半期包括利益	△196,053	△77,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△239,843	△23,639
非支配株主に係る四半期包括利益	43,789	△54,218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

2020年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、エンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合に対して第三者割当により募集株式(普通株式及びA種優先株式)発行し、同組合から2020年6月30日付けで、第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,500,000千円増加いたしました。また、同定時株主総会の決議に基づき、2020年6月30日付で資本金の額4,843,856千円のうち4,743,856千円、資本準備金の額1,822,824千円のうち1,822,824千円を減少させ、その全額をその他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を4,261,164千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填を行っております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更

当社グループは、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を8年に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	エンターテイメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,494,538	3,104,338	327,091	8,925,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,292	147,506	—	212,798
計	5,559,831	3,251,844	327,091	9,138,767
セグメント利益又は損失(△)	173,872	59,968	23,959	257,801

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	257,801
全社費用(注)	△447,792
未実現損益調整額	693
その他の調整額	△8,103
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失(△)	△197,400

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費及び事業構造改善費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	エンターテインメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,208,528	2,369,045	415,224	5,992,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,898	287,867	—	423,766
計	3,344,427	2,656,913	415,224	6,416,565
セグメント利益又は損失(△)	△200,867	163,080	39,215	1,428

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,428
セグメント間取引消去	△32,704
全社費用(注)	1,448
未実現損益調整額	986
その他の調整額	△8,700
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失(△)	△37,542

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、債務免除益及び事業構造改善費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。